安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告	小さな部品や小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

警告	●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。 ●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

注意	電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。 ● ＋（プラス）、－（マイナス）を逆に入れないでください。 ● 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。 ● 指定された電池を使用してください。 ● 使い切った電池は速やかに取り出してください。 ● 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。 ● 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。 ● 電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。

分解禁止	分解したり改造しないでください。 故障の原因になります。

■使用場所について

禁止	下記のような場所では使わないでください。 機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。 ●温度が＋50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。 ●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。） ●ほこりが多く発生する所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。） ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。） ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。 ●浴室など、湿気の多い所。 ●温泉場など、ガスの発生する所。 ●多くの油を使用する所。 （霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。） ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

■液晶表示板について

注意	液晶には毒性が含まれていますので、破損等でもれた液には直接ふれないようにしてください。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）。

ご贈答・転居などにより、お買い上げ店での保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
尚、送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

受付年月日	修　理　内　容	確認印

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。

※品名・型番　8RZ019

※保証期間
お買いあげ　　年　　月　　日より　1年間

お客様ご氏名　　様
ご住所

ＴＥＬ（　　）　　ー※販売店所在地

※店　名

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
●部品の保証期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。●この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.　※印は販売店記入

取扱説明書番号 8RZ019-1

電波時計について

電波時計とは

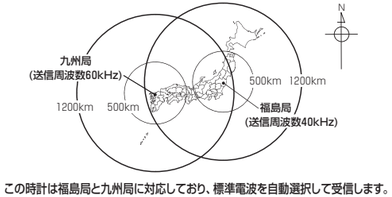
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。標準時の信号は、通信総合研究所の維持する国家標準により常に高い精度に保たれています。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」(1999年6月10日運用開始)と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」(2001年10月1日運用開始)の2ヵ所あります。
標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jjy.crl.go.jp)

電波の受信範囲について

条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります

ビルの地下など

高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く

金属製の雨戸やブラインドの近く

電化製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く

工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所

朝夕の時間帯、雨天の時

※受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。
次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用**性能部品**（電子回路）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。なお、都合により商品を現品交換させていただく場合もあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。
お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、この商品の製品番号「8RZ019」をお伝えください。

■お客様相談室　フリーダイヤル　0120-557-005
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

札幌支店	〒003-0030	札幌市白石区流通センター1-6-2	☎(011)863-3788
仙台支店	〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野2-10-36	☎(022)291-3235
東京支店	〒130-8551	東京都墨田区錦糸1-2-1	☎(03)5807-7814
名古屋支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5-19-31	☎(052)264-4581
大阪支店	〒542-0081	大阪市中央区南船場2-7-30	☎(06)6264-2388
広島支店	〒730-0054	広島市中区南千田東町1-12	☎(082)244-7774
福岡支店	〒816-0097	福岡市博多区半道橋1-11-14	☎(092)471-5585

Y0406

所在地・電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
本社 〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

デジタル表示式電波時計
取扱説明書／保証書
アフターサービスについて

お買い上げいただきありがとうございます。
●お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
●お読みになった後も、必ず保存してください。

全国自動受信

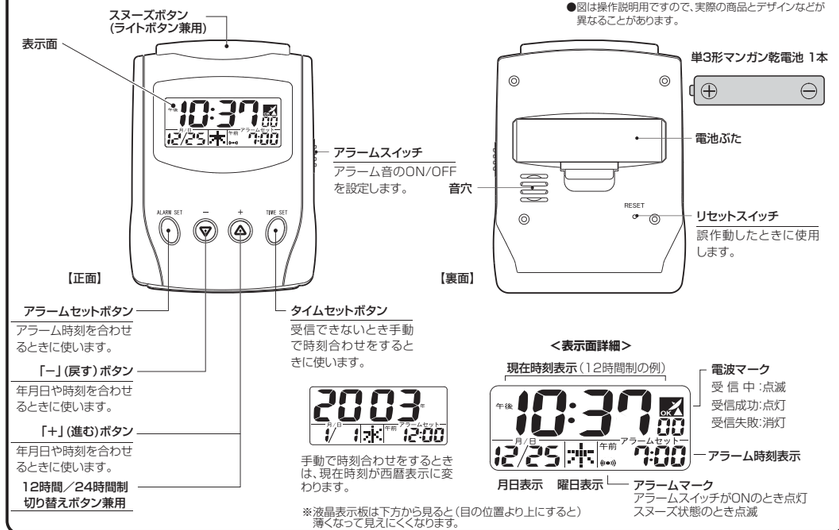
■海外での電波時計の使用について

この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合せをして使用していても、まれに日本標準時を受信し、日本の時刻を表示してしまう恐れがあります。

■Regarding Overseas Usage of The Radio Wave Clock
This clock is intended for use within Japan. It is not suited for overseas use. Even if the time is adjusted manually, Japan time may still be displayed due to infrequent reception of Japan standard time signals.
This clock can only receive Japan Standard Time signals.

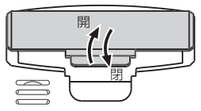
各部の名称と操作部の役割

●図は操作説明用ですので、実際の商品とデザインなどが異なることがあります。



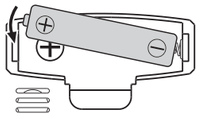
はじめてお使いになる場合(電池を交換するとき)

1 電池ぶたを外します

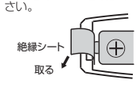


電池ぶたを左図のように外します。

2 電池を入れ電波を受信させます



商品によっては絶縁シートを使用しているものがあります。この場合は絶縁シートを取り除いてください。



電池を入れると大きな音がします。

①電池の⊕⊖を電池ホルダーの⊕⊖に合わせて電池を入れます。電池を逆に入れると時計は動きません。

注意　次のような場合は、必ず電池を取り出してください。電池からの液漏れで時計の故障や家具などを汚す原因になります。
- 使い切った電池。
- 長期間時計を使用しない。

②「**ピ・ピ・ピ・ピ**」と確認音が鳴り、受信を開始し「**電波マーク**」が**点滅**します。

電池を入れた直後は、時刻は2002年1月1日火曜日　午前12:00、アラームは午前12:00に設定されます。

③電池ぶたを取りつけます。

④時計が電波を受信しやすい場所(窓際など)に設置してください。

⑤受信結果を確認します。受信に要する時間は最長で約10分間です。

受信に成功した場合：電波受信マーク　点灯

受信に失敗した場合：電波受信マーク　表示しません

●すぐに、再受信を試みたい場合は、**「+」「−」ボタンを同時に3秒以上**押します。(**強制受信操作**)

●受信に失敗した場合は、「**電波を受信できない場合**」をお読みください。

アラームの使い方

「+」と「−」ボタンの使い方

「+」ボタンを1回押すと数値が1つだけ進みます。押し続けると早送りで進みます。

「−」ボタンを1回押すと数値が1つだけ戻ります。押し続けると早送りで戻ります。

アラーム時刻のセット方法

アラーム時刻表示

①アラームセットボタンを「時」が点滅するまで約3秒間押し続けてください。

「時」の設定

②「+」または「−」ボタンを押し「時」を設定し、アラームセットボタンを1回押してください。「分」が点滅します。

③「+」または「−」ボタンを押し「分」を設定し、アラームセットボタンを1回押してください。アラーム時刻の設定されました。

「分」の設定

※「午前」「午後」の表示に注意してください。

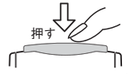
※点滅状態で約30秒間ボタン操作をしないと、表示される時刻にアラーム時刻が設定され、アラーム時刻設定を終了します。

アラームスイッチ、スヌーズボタンの使い方

アラーム機能(設定した時刻にアラームを鳴らす)

セットした時間にアラームを鳴らしたい場合は、アラームスイッチをONにしてください。「🔔」マークが点灯し、セット時刻になるとアラーム音が鳴ります。アラーム音は4段階に変化します。音1:10秒→音2:10秒→音3:11秒→音4:89秒

スヌーズ機能(繰り返しアラームを鳴らす)



アラームが鳴っているときSNOOZEボタンを押すとアラームは止まり、「🔔」マークが点滅します。約5分間後にまた鳴り出します。この機能は繰り返し7回までご使用になれます。

アラームを完全に止める場合は、アラームスイッチをOFFにしてください。「🔔」マークの点滅が止まります。

※鳴り止め操作をしない場合、アラームが鳴り始めてから約2分後に自動的に止まります。(**アラームオートストップ機能**)

※アラームが鳴っているときやススーズ状態のときには、強制受信することはできません。

※スヌーズ中はライトボタンを押しても照明はされません。

※アラームの音量は調節できません。

電波を受信できない場合

受信に失敗した場合

■ **電波を受信出来なかった場合、窓際などの受信しやすい所で時計の正面または裏面が送信所に向くようにして、再度受信を試みてください。**
また、一般に夜間になると電波を受信しやすくなりますのでそのままの状態にしてください。受信できる可能性が高くなります。

受信出来ない場合の手動による時刻の設定方法

●受信に成功している場合は、この操作はしないでください。

●電波を受信出来ない場合の時刻精度は、平均月差±30秒になります。

●手動で時刻合わせをしても、電波受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

1 「西暦(年)」の合わせ方

①タイムセットボタンを約3秒押し続けてください。西暦(年)」が点滅し、手動設定モードになります。

②「+」または「−」ボタンを押して「西暦(年)」を合わせます。

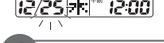
※曜日は自動的設定されます。

2 「月」の合わせ方

①西暦合せ後タイムセットボタンを1回押してください。「月」が点滅します。

②「+」または「−」ボタンを押して「月」を合わせます。

3 「日」の合わせ方



①月合わせ後タイムセットボタンを1回押してください。「日」が点滅します。

②「+」または「−」ボタンを押して「日」を合わせます。

4 「時」の合わせ方

①日合わせ後タイムセットボタンを1回押してください。「時」が点滅します。

②「+」または「−」ボタンを押して「時」を合せます。

※手動設定モード状態で、約30秒ボタン操作しない場合、手動設定モードは自動的に解除されます。(通常モードに戻ります)

※手動設定モード状態で「+」「−」ボタンを同時に3秒間以上押しても強制受信は作動しません。

5 「分」の合わせ方

①時合わせ後タイムセットボタンを1回押してください。「分」が点滅します。

②「+」または「−」ボタンを押して「分」を合せます。

※「+」「−」ボタンを押すたびに、秒が「00」に設定されます。

6 通常表示に戻します

西暦、カレンダー、現在時刻合わせが完了したら、タイムセットボタンを1回押してください。手動設定モードが解除されます。

手動で電波を受信(強制受信)

「+」と「−」ボタンを同時に3秒間押し続けます。
時刻合わせ、アラーム時刻合わせ、アラーム中は機能しません。

12時間/24時間制表示の切り替え

「+」ボタンを押すと時刻表示を12時間制と24時間制を切り替えができます。受信中、手動時刻合わせ中、アラーム時刻合わせ中またはアラーム中は操作できません。

表示面の照明について

スヌーズボタンはライトボタンも兼ねています。ボタンを押すと約4秒間表示部を照明します。

ライトの効果は暗いところで確認ください。

※暗いところで、ライトを使用した場合、表示面下方より見ると表示が見えにくくなります。

※電波の受信中は点灯しません。

静電気による誤作動について

静電気により、内蔵されているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生することがあります。この場合は、裏面のリセットボタンを先の細いボールペンなどで押してください。
「はじめてお使いになる場合」に従って操作してください。

こんなときには

Q マークが消えた。

A 標準電波を受信した後、24時間以上受信に成功しなかったことを意味します。もう1度受信すると復帰します。マークが消えてもクオーツ精度で時計は動いています。

Q 受信できても、テレビやラジオなどの時報サービスと一致しない。

A1. 時計の受信処理などで、±1秒程度の誤差を生じることがあります。

A2. 誤受信により時間違いが発生することがあります。強制受信操作(「+」と「−」ボタンを同時に3秒間押し続けます)を行なってください。誤受信を繰り返す場合は設置場所を変えてください。

A3. 電池が消耗すると、遅れ進みの原因になります。新しい電池と交換してください。

Q 目覚ましがセットした時刻に鳴らない。

A 目覚まし時刻または現在時刻の**午前**と**午後**が逆になっていませんか?
12時間制表示のときに、午前と午後が逆になっている場合は再度設定してください。

Q 電波を受信できていなくても、目覚ましは鳴るのか?

A 電波を受信できていなくても、クオーツ精度で時計は動いていますので、セットされた時刻に鳴ります。

Q 今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。

A 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波(送信停止)することがあります。停波に関する情報は「通信総合研究所」のホームページに掲載されます。
ホームページアドレス　http://jjy.crl.go.jp

製品仕様

時間精度	● 標準電波の受信に成功している場合 表示精度: ±1秒 ● 標準電波を受信できない場合 平均月差: ±30秒以内(常温中)
使用温度範囲	−10〜+50℃(0〜+40℃ 液晶表示可視範囲)
使用電池	1.5V 単3形マンガン乾電池(JIS規格 R6P) 1本
電池寿命	約1年間
機能	● 標準電波受信による時刻修正機能 : 福島局/九州局　自動選択 ● 時刻表示　: 12時間/24時間制切り替え表示 ● カレンダー機能 : 西暦(2002〜2099年)、月、日、曜日 ● 目覚まし機能 : 電子音 ● 目覚まし鳴り時間 : 約2分間(4段階音) ● スヌーズ機能 : スヌーズ間隔 約5分間(7回まで) ● 自動電波受信 : 1日8回 午前1:16 午前2:16 午前3:16 午前4:16 午後1:16 午後2:16 午後3:16 午後4:16 8回の自動受信で1回でも成功すればその時から24時間電波受信マークは点灯します

●時計に付いている電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※0℃〜+40℃の範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなることがありますが、時計精度には影響ありません。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。